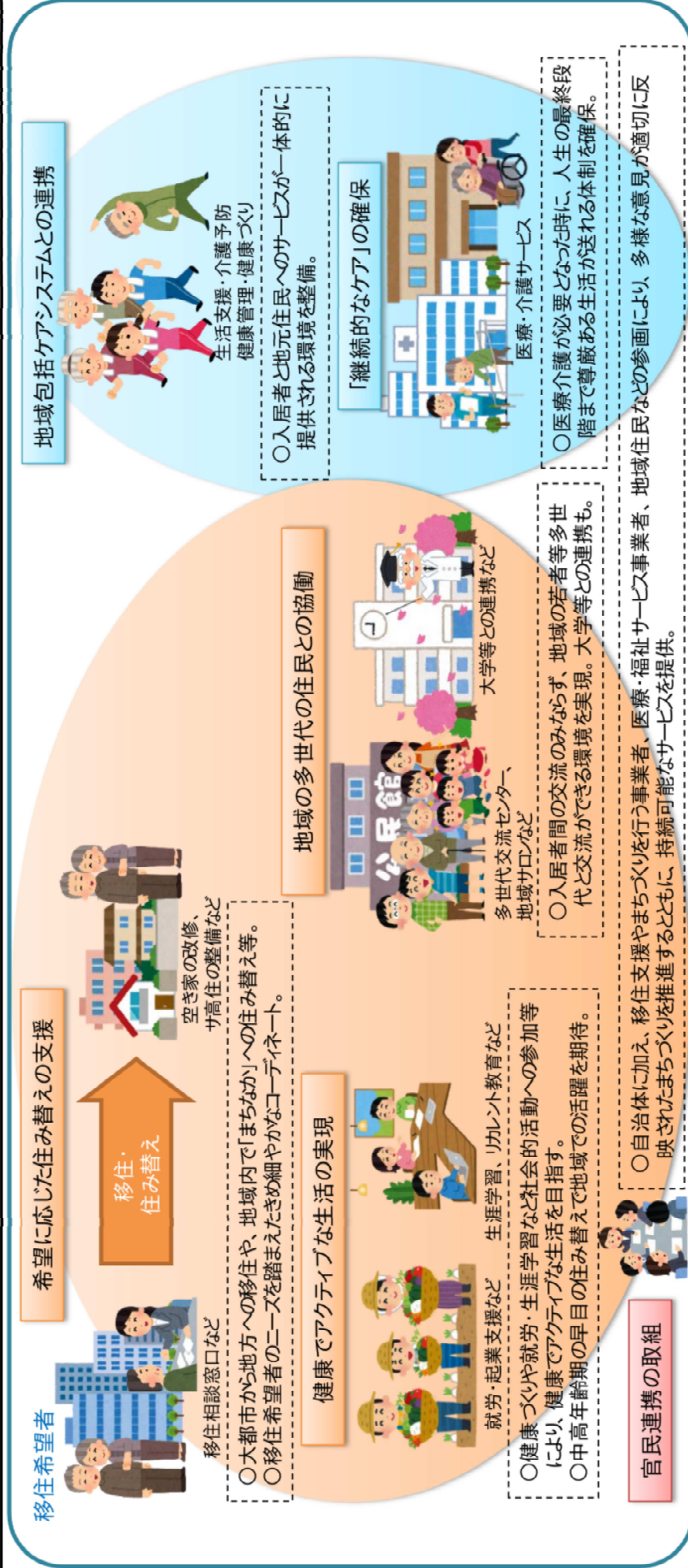


「生涯活躍のまち（日本版CCRC※）」の推進

(R1.7.9版)

※Continuing Care Retirement Communityの略

◎地方創生の観点から、中高年齢者が希望に応じて地方や「まちなか」に移り住み、地域の多世代の住民と交流しながら、健康でアクティブな生活を送り、必要に応じて医療・介護・介護を受けることができる地域づくりを目指す。
 （生涯活躍のまちHP: <http://www.kantei.go.jp/jp/singi/sousei/about/ccrc/index.html>）



◎「生涯活躍のまち」の地域再生計画制度（25計画を認定（令和元年7月現在）） ※下線の地方公共団体は、地域再生計画に加え「生涯活躍のまち形成事業計画」を策定。

〔北海道函館市、北海道江別市、北海道東川町、喜森県弘前市、岩手県雲石町、山形県酒田市、茨城県阿見町、千葉県匝瑳市、千葉県長柄町、千葉県御宿町、新潟県南魚沼市、石川県白山市、山梨県都留市、長野県佐久市、静岡県伊豆市、静岡県南伊豆町、兵庫県三木市、鳥取県南都町、岡山県奈義町、広島県安芸太田町、徳島県三好市、高知県高知市、福岡県北九州市、大分県別府市、鹿児島県伊豆市、鹿児島県伊仙町〕

◎関係府省からなる支援チームにより地方公共団体の取組を促進（18団体（平成30年12月現在））

〔北海道函館市、岩手県雲石町、茨城県阿見町、千葉県匝瑳市、千葉県長柄町、新潟県南魚沼市、石川県輪島市、山梨県都留市、長野県佐久市、静岡県南伊豆町、兵庫県三木市、鳥取県南都町、岡山県奈義町、広島県安芸太田町、徳島県三好市、福岡県北九州市、大分県別府市、鹿児島県伊仙町〕

⇒「生涯活躍のまち」の取組を進めている地方公共団体数：100団体（2020年）を目指す。

（既に「生涯活躍のまち」に関する基本計画等の構想を策定している団体数：平成31年3月末現在：89団体）